

本学では、専門学校等評価基準に基づき、学校教育活動その他の学校運営の状況について、年度終了時に自己点検・評価を行っており、その結果を本書にてご報告いたします。

この自己点検・評価に基づき、さらに学校関係者評価委員によって課題や反省点、改善点などの検討がなされ、更なる教育水準の向上に向けて教職員一同努力を傾けていく所存でございます。

この検討内容など詳細につきましては、学校関係者評価報告書にてご報告を申し上げます。

平成29年3月1日

学校法人 大橋学園
専門学校ユマニテク医療福祉大学校
校長 鈴木 建生

学科の教育目標(事業計画に記載の項目1)

定員実員を実現するとともに、作業療法学科のアドミッションポリシーを理解して入学してきた学生が途中で諦めることなく国家試験に合格するようにサポートする。また、作業療法学科の教育方針を具体的に実践し、豊かな人間性と確かな技術を持った卒業生を輩出することで、地域に貢献していく。

- ①入学者数定員実員（魅力的な学科づくり）
- ②退学者数の減少（退学者の分析と教員指導力の向上）
- ③入試募集活動の見直し（より効果的な入試募集活動検討）

平成28年度自己点検・評価の実施結果

大項目	中項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1			
(1)教育理念・目標	1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
	1-2 学校における職業教育の特色はなにか	4	3	2	1
	1-3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
	1-4 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
	1-5 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科等に対応する業界ニーズに向けて正しく方向づけられているか	4	3	2	1
	【コメント】学校としての理念・目的・育成人材像は定められているが、社会にどのような卒業生を輩出していくか、業界のニーズにこたえることができているかは、議論が必要である。10年先の学校の在り方について、将来構想を考えていく時期にきている。				
(2)学校運営	2-1 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
	2-2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
	2-3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
	2-4 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1
	2-5 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
	2-6 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
	2-7 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
	2-8 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1
【コメント】事業計画を3月末までに策定し、学園本部への提出が義務づけられた。これによって教職員の意識が高まった。人事給与面においての規定作成が未だなされていない。					

大項目	中項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1			
(3)教育活動	3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
	3-2 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
	3-3 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
	3-4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
	3-5 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
	3-6 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
	3-7 授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
	3-8 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
	3-9 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
	3-10 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
	3-11 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
	3-12 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
	3-13 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
	3-14 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1
【コメント】平成30年度に向けて、新入生の特性と関連分野の育成人材像や業界のニーズを踏まえ、カリキュラムを改正する予定である。職員の能力開発については、年に一回、研修会に行くように計画しているが、研究や開発には十分に取り組めていない。					
(4)学修成果	4-1 就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
	4-2 資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
	4-3 退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
	4-4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
	4-5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1
【コメント】退学率は減少してきているが、高学年になっても、知識・技術の不十分な学生が増えてきており、臨床実習及び国家試験対策において、難しい状況になってきている。今後は、さらに効果的な学習について検討していきたい。					

大項目	中項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1			
(5)学生支援	5-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
	5-2 学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1
	5-3 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	②	1
	5-4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1
	5-5 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	②	1
	5-6 学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	②	1
	5-7 保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
	5-8 卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
	5-9 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	②	1
	5-10 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1
	【コメント】学園独自の奨学金制度は有してなく、学生支援機構奨学金を紹介するにとどまる。学生相談に関する体制では、担任が随時行っているが、突然退学となるケースもあり、相談に対する取り組みについては、さらに工夫が必要である。また、スクールカウンセラーの配置はあるものの、十分に活かしていない状況である。				
(6)教育環境	6-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2	1
	6-2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	③	2	1
	6-3 防災に対する体制は整備されているか	4	3	②	1
	【コメント】年一度の防災訓練に加えて、教職員対象の防災訓練を実施する方向で考えている。設備や備品が古くなっているため、計画的に修理、買い替えをすることが必要である。				

大項目	中項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1			
(7)学生の受け入れ募集	7-1 学生募集活動は適正に行われているか	4	3	②	1
	7-2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	②	1
	7-3 学納金は妥当なものとなっているか	4	3	②	1
	【コメント】オープンキャンパスやガイダンスなどは、入試募集担当と教員が十分に行っているが、成果として表れていない。今後はそれ以外の、ホームページをはじめとする広報媒体の工夫などの検討も必要である。				
(8)財務	8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1
	8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	②	1
	8-3 財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
	8-4 財務情報公開の体制整備はできているか	4	③	2	1
	【コメント】学生募集が厳しさを増す中、帰属収入が落ちているのは否めない。学生募集の観点からすると学費値上げは、ますます募集活動に影響を与える。職業実践専門課程の認定を受けるためには財務情報を含めて情報公開をしていく予定である。				
(9)法令等の遵守	9-1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	③	2	1
	9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1
	9-3 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	③	2	1
	9-4 自己評価結果を公開しているか	4	3	2	①
	【コメント】設置基準の遵守はなされているが、教員数に関しては、補充ができない期間があることがある。				
(10)社会貢献・地域貢献	10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	②	1
	10-2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1
	10-3 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	3	②	1
	【コメント】学生ボランティア活動は、活発に行われているが、さらに範囲を広げていくことも検討していく。教員及び学生が、地域活動に協力していく方向で努力している。				